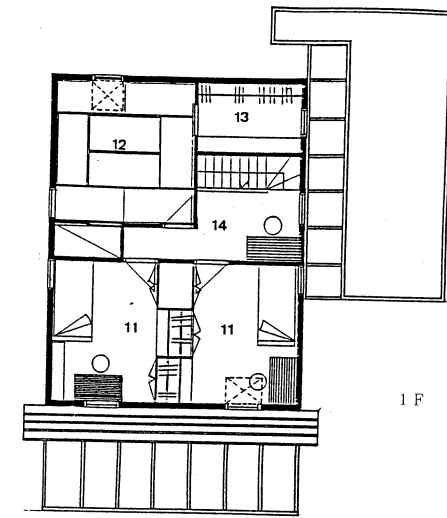
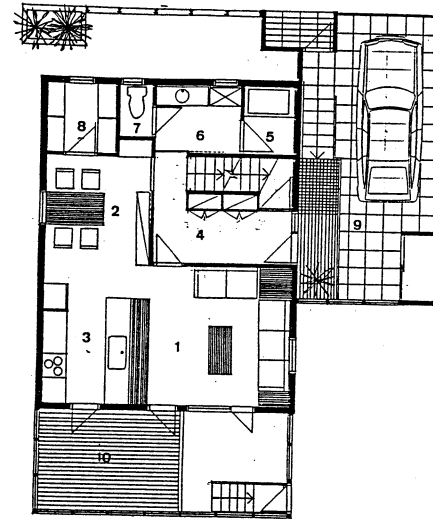
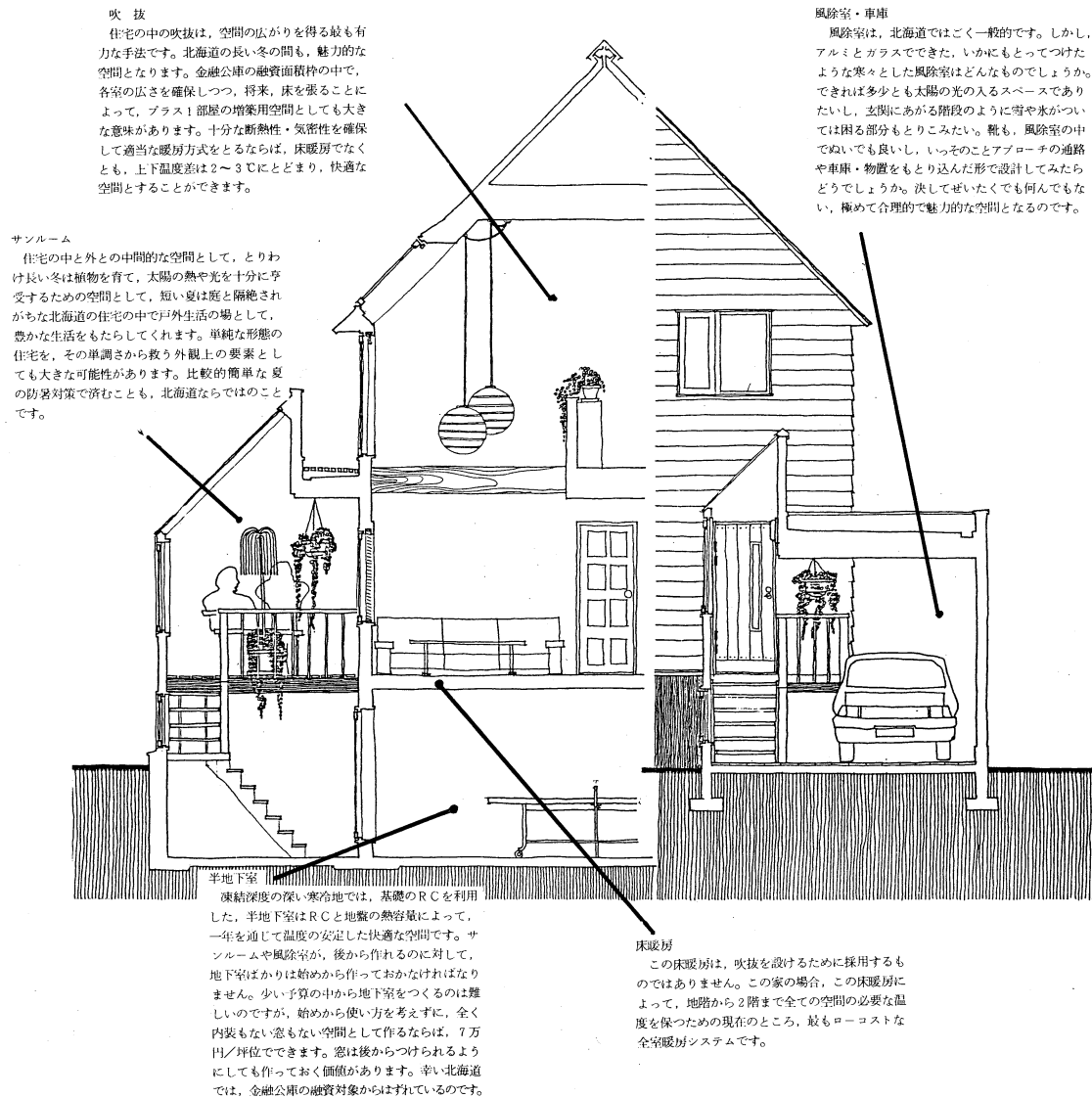


ポイント5 魅力的な空間……北海道ならではの家づくり

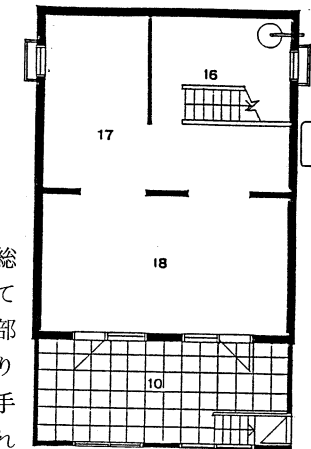
単純な形で、断熱・気密のしっかりした、暖かくて灯油のかからない高性能住宅は、もうできることがわかりました。しかし、「家」とは性能一点張りでは成立たないものです。

寒冷地・北海道という風土の中で、「家」は地域ごとの特色、人それぞれの個性、生活等を豊かにはぐくんでくれる器なのです。「家」を設計する過程で、色々な制約の中でもぜひとも大事にした

いものです。新築の時、何んでもかんでも全て実現するよりも、「家」の中で暮らしながら、住み手の個性と「家」が共に成長し、豊かな生活が営まれることが、望ましいのです。ここでは、コンパクトで単純な家に北海道としてふさわしい、北海道ならではの空間をしつらえた実例を紹介します。



- 1F 1 居間
- 2 食堂
- 3 台所
- 4 玄関ホール
- 5 浴室
- 6 ユーティリティ
- 7 便所
- 8 食品庫
- 9 風除室・車庫
- 10 サンルーム
- 2F 11 子供室
- 12 主寝室
- 13 納戸
- 14 ホール
- 15 バルコニー
- 16 ボイラー室
- BF 17 物置
- 18 プレイルーム



	居住部分	非居住部分
1F床面積	51.03	
2F床面積	51.03	
車庫・風除室		25.11
サンルーム		26.73
地下・物置等		51.03
小計	102.06	102.87
合計	204.93	

上の図面は、3.5間×4.5間=15.75坪の総3層構成の住宅です。客間としての和室を設けてない点が多少一般性にかけるのですが、本体部分48.25坪の空間は狭さの中にも十分なゆとりを持っています。とくに、地下室の使い方は住み手の個性にまかされているのです。子供が小さければ、2階の子供室は一室分が予備室として客間にもなりますし、吹抜としてもよいでしょう。もちろん、何年か後に地下に客間を作ってもよいのです。風除室・車庫・サンルーム等はだんだんに作っていけばよいのです。この住宅は、若い世帯向けの住宅なのですが、住み手と共に成長する魅力を持っています。

右の写真は、図面とは違って大分大きい住宅なのですが、単純な形の外周に風除室・サンルームを設け、魅力ある外観、寒冷地の住宅としての新しい外観を持っているとは思いませんか。住宅展示場に並んだ装飾的な外観をもつ住宅に比べて、空間的な魅力が外観に表われているのが、魅力だと私は思います。

